



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

ROTARY 2000:  
ACT WITH  
CONSISTENCY  
CREDIBILITY  
CONTINUITY



ロータリー2000:

活動は-堅実、  
信望、持続

1999~2000年度 国際ロータリーのテーマ

第640回 平成12年 5月10日(水)

### 〔本日のプログラム〕

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1. 点        | 鐘     |
| 2. 国歌       | 斉唱    |
| 3. ロータリーソング |       |
| 「我等の生業」     |       |
| 4. 「四つのテスト」 | 唱和    |
| 5. 食        | 事     |
| 6. 会長の時間    |       |
| 7. 幹事報告     |       |
| 8. 委員会報告    |       |
| 9. 5月       | セレモニー |
| 10. 会員卓話    | 藤堂孝一君 |
| 11. 点       | 鐘     |

- |      |               |
|------|---------------|
| 次回予告 |               |
| ★    | 5月17日(水)      |
|      | 会員卓話          |
|      | 池田仁志君         |
|      |               |
| ★    | 5月24日(水)      |
|      | 次年度各委員会活動方針発表 |

### 佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会長	福井 輝文
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	梶田與之助
事務局	宮崎県佐土原町大字下郷43887-17	幹事	恒吉 正志
	☎880-0212	会計	林 厚雄
	☎&FAX0985-73-7170	会報委員長	池田 仁志

第639回例会記録  
(2000. 4. 26)

☆会長の時間

会長エレクト 梶 田 興之助 君

会長が所用の為、欠席されましたので、会長エレクトの私が代行致します。

本日は第639回の例会です。

ビジターの紹介を致します。

西都RCの十川 英利君です。よくお出で下さいました。

先週の例会でご報告申し上げました通り、次年度ライラを引き受けることになりました。

ライラとは、ロータリー青少年指導者育成プログラムで、地域の若者（インターアクトとロータリーアクトの年齢層を含む）とロータリアンが参加する地区単位のプロジェクトで、アクトとは別に地域の青少年指導者にロータリーの精神を浸透させる講習会並びに訓練をします。

はじめはロータリーアクトを中心に開催されましたが、その後、広く各集団から推薦された若者が合宿し地域青少年の指導者としての資格を体得するようになりました。

3年前に西都RCが新田原基地でライラを実施した際、私の会社の社員を参加させたことがあります。

又高鍋RCでは本年度

期日 5月27(土)~28(日)

場所 ホテル泉屋(高鍋町大字北高鍋1368-4

TEL 0983-22-3366)

にて、第22回宮崎県中部分区青少年指導者育成研修会が開催されます。是非新世代委員長の富高君には出席して頂くよ

うお願い申し上げます。

先日次期地区ライラ委員長の石神徳市君より電話があり、是非佐土原RCで次期ライラ地区委員を出して頂きたい旨の要請がありましたので、2~3の方に打診しましたが、なかなか決まりませんので、後程全員で協議をお願いします。

又、地区協議会(5/14)迄に次年度のライラの日程を決めて下さいとのことでしたので、平成13年5月26日(土)~27日(日)を予定しましたので、その節はご協力の程よろしくお願い致します。尚、準備委員5~6名は後日決めたいと思います。

皆様ご承知の通り、先日4月22日~23日にかけて、南太平洋フォーラムに加盟する16ヶ国地域の首脳らが一同に会する「太平洋 島サミット」がシーガイアサミットホールで開催されました。初の国際会議都市として宮崎が日本国内外にアピールされたと思います。

宮崎宣言もされ、その骨子の5項目中に気候の変動による環境問題その他の採択がなされました。

又当クラブの伊東君も案内役に抜擢され、大変ご苦勞様でした。後ほど、ドリウアル首相イオナタナイオナタナ氏ご夫妻の案内の際の苦勞話を是非ともお聞かせ下さい。

さて我々農業界に於いても、地球大気圏のオゾン層破壊の原因の一部となっている臭化メチルという農薬が2003年ごろには販売が禁止され、メロンの生産農家にとっては大きな衝撃となります。

土壌消毒の切り札的存在ですので、メロンを栽培するうえで欠かせないものですが、環境問題が重要なことから、差し支えない限り、

結局我々人間が地球破壊をしているのですから、我々1人1人が身近な所から注意を払いながら一つ一つ環境問題にも取り懸る姿勢が肝要ではないかと思

## ☆幹事報告

幹事代行 吉田康一郎 君

### 例会休会通知

1. 5月1日(月) 宮崎南RC
  2. 5月2日(火) 宮崎 RC
  3. 5月1日(月) 宮崎東RC
- 以上3クラブとも休会です。

本日10:00より「ロータリーの花壇」創りの予定でしたが、又、天気にも恵まれず、作業が出来ませんでした。

色々準備された会員の皆様には大変申しわけありませんが、この作業は5月17日(水)の例会まで延期致します。

5月3日(水)は休日のため、休会となります。そして迎える5月10日(水)は夜間例会になります。この日に5月1日付けで入会された、太田忍君と赤木政貴君の歓迎会を行いたいと思います。

当日はお酒も出ますので、車の方は御留意下さい。

場所 当石崎浜  
時間 6:30～ の予定です

5月27日(土)～28日(日)に高鍋RC担当で開催されます、ライラに当クラブから、新世代委員長と同副委員長の参加を計画しておりましたところ、伊東会員の計らいで下記の方々が出席されることになりました。

### 記

福井工務店 北村拓郎君(23歳) 参加  
江坂設備 藤原貴廣君(22歳) 研修  
フェニックスグリーン 川上英昭君(26歳) 生

新世代委員長 富高 秀典君  
副委員長 伊東 忠寛君  
ワザバ参加者 福井 輝文君  
" 梶田與之助君  
" 吉田康一郎君

以上8名の参加予定です。

青少年研修生の参加協力があり、大変嬉しく思っています。

## ☆出席報告

委員長 柳田光寛君

会 員 数	26名
例 会 出 席 者	22名
出 席 率	85%
メ-クアップ者数	2名
修 正 出 席 率	92%
欠 席 者 名	鮎 穂 詩

本日は最近の例会では、久しぶりの高出席率でした。次回も期待したいと思います。

## ☆会員増強委員会

委員長 藤堂孝一君

先週に続きまして、赤木征貴君の入会式を行います。

バッジとロータリーの綱領を贈呈してお祝いを申し上げます。

我々の仲間として、又強力な戦力として、ご活躍の程をお祈りしております。

あと1ヵ月余りで是非、今年度の目標純増3名を達成したいと思います。

## ☆会員卓話

後藤明夫君

『住宅の品質確保の促進等に関する法律』について

昨年後半から新聞、TV等の報道で「住宅の品質確保の促進等に関する法律」という内容の記事を見たり聞いたりされていると思います。

この事に関して今日はお話したいと思います。

平成7年1月早朝に起きた阪神大震災では住宅の下敷きとなって多くの犠牲者が出た。これらは屋根を支える柱の強度が十分でなかったり、筋違い等の斜材が入ってなかったといった欠陥住宅が原因でした。

最近では、秋田県の第3セクターの会社が千葉県でつくり、販売をした建売住宅が地盤沈下や施工不良の欠陥住宅を買わされたとして、住民が損害賠償を求めて訴訟を起こした事件等をきっかけとして世論の批判の高まりを背景に法律化されたものであります。

この法律は去る平成12年4月1日から施行されています。

車やコンピュータ、電気製品等にはカタログの中にその性能が表示されている（例えば車であれば大きさ、排気量、燃料消費率の表示）が住宅においてはそれらの事が非常に解りにくいあいまいなものになっていました。

今回の法律は、

- ①新築住宅の10年間の瑕疵保証の義務化
- ②公的第三者機関による住宅性能表示制度の創設

### ③住宅取得者と業者との紛争処理機関の設置

の3つの大きな柱があります。

この法律の制定によって、新築住宅を取得後、住宅に欠陥が出たが原因が解明できないとか、業者が補修してくれないといった苦情や、取得しようとする住宅あるいは取得した住宅の性能（例えば構造の強度、断熱性、遮音性）の程度を理解したり、他の住宅と比較できない為に欠陥住宅をつかまされたというトラブルを未然に防ぐ効果や、住宅に欠陥やトラブルが発生した場合に、安い費用（約1万円程度）で公的第三者紛争処理機関で短期間にその処理をしてもらえという効果が期待されています。

### 立腹と怒り

腹は立てるが……

江戸時代のころ、今の静岡県松陰寺に白隠禪師という禪の高僧が住んでいました。あるとき、誰かが白隠にたずねます。

「私は、禪師さまの怒ったお顔を見たことがあります。禪師さまは腹をお立てになることはないんですか？」

こんな質問をしながら、その人は心の中で、白隠さんはきっと（私は修行を積んでいるから、お前のように腹は立たん）、と答えるだろうと思っていました。ところが、白隠は、意外にも、

「バカいうな、私は土の人形や石の地藏さんではないぞ、生きた人間だから人なみ腹を立てるぞ！」腹は立てるが、怒らぬだけさ！」立腹が動機で、勉強や研究や労働に精を出す、白隠禪師は教えるのです。

（松原泰道人生法話集より）